

# まちづくり懇談会が 開催されました

令和2年10月26日から11月2日にかけて、各地区においてまちづくり懇談会が開催されました。

はじめに町長から行政の報告がありました。

今年にはコロナウイルス感染防止対策のために、予定をしておりました町の行事、あるいはイベント等については中止もしくは、規模を縮小しての開催となり、町民のみな様には大変ご心配やご迷惑をおかけしております。

本町では町民のみな様のご協力の元に外出等の自粛、感染防止等手洗い、マスクの着用などにより、これまで1人の感染者を出していません。改めましてみな様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。また定額給付金事業を始め、経済対策や感染防止対策

を議会の同意を得ましてスピード感を持って実施をさせていただきます。

これからのプレミアム商品券、マル特クーポン券の活用を行うって経済対策や、インフルエンザ予防接種の無料化などの保健対策を実施しまして町民のみな様の健康と生活を守っていききたいと考えております。

そのような中で令和2年度から第6次長期総合計画、ふるさと創生総合戦略が、「小さくても持続可能なまち」を目指してスタートしました。

まちづくりを推進するために、3つの理念、「誰もが心豊かで幸せを実感できるまち」、「誰もが安全・快適に暮らせるまち」、「誰もが町を支える主役として躍動するまち」を掲げさせていただきます。これらを実現するため

に「安心づくり」、「仕事づくり」、「人づくり」、「環境づくり」、「つながりづくり」に取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

各地区のみな様から様々なご意見を頂戴しましたが今回は主なものをご紹介します。ただきます。



## 【公立刈田総合病院は公設民営化になるのか】

白石市長が選挙の結果再選されました。  
公立刈田総合病院の公設民

営化に取り組むことを公約としましたが、公立刈田総合病院は白石市だけのものではなく、一市二町組合で運営していますので、これから話し合いを進めていくことになるだろうと思います。相手方も定まっていない状況でありますので、しっかり住民の医療を守る観点から、知事も話しているのとおり、私も公立刈田総合病院として中核病院との連携を深め、役割を分担していきたいと考えています。

今後は東北大学、宮城県、医師会と話をしながら方向性を見定めていかなければならないと考えています。

## 【空き家が増えているが、その対策について】

地区の協力を得ながら、空き家の再利用をしていきたいと考えています。

空き家を4種類に分類し、1つは廃屋に近い空き家、2つ目は、5、6百万と大規模な改修が必要な空き家、3つ

## 【小中一貫校はいつなるのか】

現在、施設としての体力度調査を実施しているところで、その結果を受けて判断をしていくこととなります。小学校、中学校、保育所、調理場といった教育設備全般の調査をしており、保育所、調理場について耐久性が低いと中間報告を受けています。今後は優先順位を設けて進めていきます。

当初は小中一貫教育を考えていましたが、学校の実情や、財源などの問題もあり、諦めたわけではありませんが経過を見ているところであり、過疎計画が今年度をもって終了し、新たな前期5カ年計画を作成し、町の考え方を示さなければなりません。

学校については前期5年間では難しいですが、後期の5年間に改修、新築について考えていきます。

## 【診療所は往診してもらえないのか】

往診は行っています。午前中は予約診療のため難しいかも知れませんが、午後であれば大丈夫だと思います。診療所に連絡をいただければ、医師の判断で往診することは可能です。

## 【診療所の夜間・休日の診療体制を整備してほしい】

月曜から金曜日の日中は勤務しています。医師が不在の時は代診の医師が中核病院から来ていただいています。

医師住宅も整備し、24時間体制で対応していただきたいが24時間、365日拘束することは困難な状況です。病院へのかかり方について住民の皆さんに丁寧な説明をする時期が来ているように感じています。

案内看板を設置して、ここが源流だと分かるようにしているのはどうかと考えています。

倒壊した看板については、県に話していますが、県では直さない方向でいますので、再度県と協議をして検討していきます。

## 【農林産物出荷促進事業の事業期間を延長してほしい】

早速検討して、対応させていただきます。(10月31日から11月30日に延長しました。)

## 【街道Hostel おたつ裏の防火水槽の移設について】

おたつの敷地内だと文化財等の関係から、おたつ下の空き地となっている場所に移設することで検討を進めています。補助事業を進める関係で、令和4年度以降で整備したいと考えています。



## 【鏡清水の倒壊した看板の撤去と設置をお願いしたい】

鏡清水そのものを維持できる形で考えた方がお客さんは喜ぶのではないかと考えています。